

# 寺報

No.642

令和3年2月

蓮華寺  
發行

## 御聖訓

されば我等が居住して一乗を修  
 行せんの所は、何れの所にてても候  
 へ、常寂光の都たるべし。

『さいれんぼうごへんじ  
 最蓮房御返事』



### (解説)

一般に人が亡くなりますと、みな「仏様になつた」といいます。

これは、亡くなった人がせめて死後は仏様のように苦しむ事なく安らかであつて欲しいという、遺族の願いから生じたものと思われます。

しかし、この死者イコール仏様という考え方は、全くの誤りといえます。

何故なら、生存中にお経やお題目を唱える事もしないで、ただ好き勝手に生き、因縁罪障を残した人が自分の肉体に寿命が来たからといって、すぐにその心が悟りを得るといふ事はありえないからです。

確かにこの世界は、いつも苦しい事ばかりが目につき、実際にこの現実の世界から逃避し、他の世界に安楽を求めようとす人もいます。

しかし、この世で得る事が出来ないものが、あの世で得られるわけがありません。

日蓮大聖人はこう力説しました。

「我々が住み、法華経とお題目の修行をする所は、たとえそれが園の中であつても、山林でも、また荒野でもどこであろうとも、仏の居ます永遠の浄土となるだろう」と。

# 節分会のお知らせ

## 二月二日(火)

### 午後六時開始

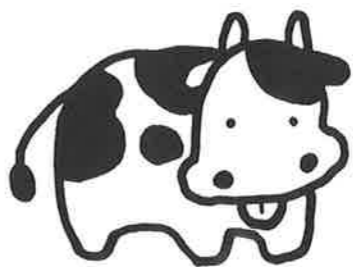
男性大厄	数え二十五歳	平成九年生れ
	数え四十二歳	昭和五十五年生れ
女性大厄	数え十九歳	平成十五年生れ
	数え三十三歳	平成元年・(昭和六十四年)生れ
年男・年女 (丑年)	大正十四年生れ	
	昭和十二年・二十四年・三十六年 四十八年・六十年生れ	
その他	平成九年・二十一年・令和三年生れ	
	前厄・後厄(厄年の前後)	
	還暦(六十一歳)・古稀(七十歳) 喜寿(七十七歳)・傘寿(八十歳) 米寿(八十八歳)・卒寿(九十歳) 白寿(九十九歳)	
	⑥いづれも数え年です。	
	・今年ご祈祷希望者はどなたでも受けられます。	

- ★厄払い・三千円
- ◎豆まき◎祈願読上げ
- ◎ご祈祷◎厄札◎絵馬
- ◎福豆のお土産等

⑤ご本人が来られない場合は、代理の方か、または帯・ベルト・肌着等、身に着ける物を前もってお寺にお預かり下さい。

★一般祈願・千円(◎節分札◎祈願読上げ)

【随時受付中】



当山蓮華寺では、本年大厄(前厄・後厄も含む)に当ります男女、また干支の丑【うし】年に当ります年男・年女、更に今年特別にご祈祷を希望する方々に、まず厄払いのご祈祷とお加持を受けて戴き、次に豆まき(落花生)、最後に絵馬と厄除けのお札、お土産をお渡し致します。

この時、お渡しする「絵馬」は、その場か後でも差し支えありませんが、住所・氏名・数え年、そして一年

## 厄払い

間の願い事を書いてお寺にお納め下さい。お寺ではこれを一年間、大本堂の御寶前に奉納し毎朝祈願のお経をお上げします。また、厄除けのお札はご本人が寝ている部屋の柱の上の方に、一年間貼って下さい。向きは、寝ている頭の方向が最もよろしいでしょう。必ずお願い致します。

私達が一生の中で、特に災難に遭う恐れが多く、慎みたい年を『厄年』といいます。

男性は二十五歳と四十二歳、女性は十九歳と三十三歳の、いづれも数え年を『大厄』といい、またその前後の年を『前厄』『後厄』といいまして、この三年間を慎む風習が昔からあります。

厄年に当る人が、神仏の前で厄災の起らないようにと祈念する行事を「厄払い」、また除厄(じょやく)祈禱(じたう)といいます。

日蓮大聖人は、法華経を信仰する事で「三十三の厄、転じて三十三の幸いとならせ給うべし」と教えられ、

## 『鬼』とは？

古来より、我が国では『鬼』といえば『神』と同じ扱いをし、人間よりも遥かに大きな力を持っているものとされてきました。

しかし、仏教が伝えられて来ますと、鬼イコール邪鬼・夜叉・餓鬼などの悪鬼と見られるようになり、いつの間にか鬼といえは恐ろしいものと変化したのです。更に、これに中国の鬼が加わったものからです、日本の鬼の性格はますます複雑なものになりました。中国では鬼を「キ」といい、亡霊そのものを指すのです。

ですから、日本の鬼は神格化された強い鬼、仏教で説く邪鬼、中国の亡霊などが加わり、これらが様々に融合して、今日のイメージが出来上がって来たのです。特に、中国には陰陽道という学問があり、その中に鬼門というものが説かれています。

鬼門とは、悪鬼（亡霊）が出入りするという北東の方角をいい、避けるべき場所をいいます。

この教えは我が国でも受け入れられ、よく北東の方角は鬼門に当るから、仏壇・神棚・玄関・トイレなどを作るとよくないといわれるようになったのです。

たとえば鬼門除けの為に、京都御所が北東の比叡山に延暦寺を、また江戸城も同じく上野に寛永寺を建立した事で有名になっています。

ところで、皆様も鬼といえば角を生やし、怖い形相で牙をむき、手には金棒を持ち、虎皮のパンツをはいたスタイルを想像すると思いますが、これも同じく鬼門から来ているといわれています。

これは定かではありませんが、昔、北東の鬼門の方角を「艮」（ウシトラ）と呼びましたが、この「艮」をウシとトラに分けて考え、牛のように角を生やし、虎の皮のパンツをまとった鬼の姿が出来上がったという

説です。

この他に、地獄の赤鬼・青鬼などの鬼も現われますがともかく、今日のイメージに近い鬼が誕生したのは、平安の末期頃ではないかと言われています。

なお、日蓮宗では「鬼門」を避ける事はせず、逆に丁寧にお祀りする事によって、「貴門」として崇めるようにしています。



### お願い

今年は、百二十四年ぶりに『節分』の日が【二月二日】になっていますのでご注意ください。また、当山としても「コロナ対策」として、消毒・換気等を行ない、またなるべく三密を避けるようにしていますので、皆様もマスクの着用を忘れずにお出で下さい。

### 『星祭』お申込みのお知らせ

当山では毎年三月に行われます『星祭』の期間中皆様のご家族のお名前と数え年を記入しました「星」（剣守札）をお祀りして、その年の善星が皆来し、悪星が退散して、一年間無事安泰でありますようにと祈願致します。

その時に、皆様がお受けになります「星」のお申込みは、事務所に置いてあります専用の用紙に、ご家族のお名前・性別・数え年・住所等をお書きの上、お早めにお申込み下さい。

※剣守札（星）一休・・・二百円



どうか、檀信徒の皆様は、是非とも毎年この「星」（剣守札）をお申込み戴き、そして、いまだ知らない方がおりましたら、お勧めになりますようにお願い致します。

二月十三日（土）より受付します。

### 永代供養堂

当山会館の三階にあります「永代供養堂」は、今後後を見る事が出来ない仏様をご供養する所です。まず、当山指定のお位牌の正面に『ご戒名』または『先祖代々之諸精霊』と彫り、裏面には施主名を彫り御寶前にお祀りします。

そして、蓮華寺のお寺が続く限り、永遠にご供養して参ります。

ここでは、毎朝僧侶がお経を上げ、ご命日にはご戒名を読み上げますし、また先祖代々のご供養はお申込みのあつた日に読み上げをしています。

### 永代供養塔

当山境内にあります「永代供養塔」は、今後、後を見る事が出来ない『個人のお骨』また『先祖代々のお骨』を埋骨し、永代に渡りご供養しております。

ここは、毎月僧侶がお経を上げ、ご供養を欠かす事はありませぬ。

（注）どちらも詳細は、当山事務所までご相談下さい。

☎017-776-5840

### 『御守護』札を

#### 貼付しましょう！

当山で毎年年末に用意致します『御守護札』は、蓮華寺の檀家である証明と、その家をご守護する為のお札ですので、必ず玄関に貼付するようにして下さい。まだ檀家の中でも知らないで、貼付していない家庭も沢山あります。

どうか、今年度より貼付するようにお願い致します。



(一枚五百円) 【販売中】

また、その年に家でご不幸などがあつた場合でも、御札・御幣等は必ず毎年取り替えるようにして下さい。

### ☆霊断

檀信徒の皆様で、日頃から何か困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識霊断法』にて当山僧侶が解決、ご指導致します。

なお、宗旨宗派は問いません。 ☎776-5840

【相談料は原則として三千元となります】

### 『位牌壇』募集！

◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様の御先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられていきます。

◎仏様の御命日に当る日に、諸用や旅行などで不在の時でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げし、またお経も唱えさせて戴きます。

◎特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来ます。

◎最近の仕事などの関係から、家族が地元に住めずに仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を預かり青森に帰省した時にお参りをする方達も増えてきていますが、それでも構いません。

◎やむなく、ご親戚やご友人に譲渡する事も出来ませんが、その際はお寺に必ずご連絡下さい。

◎現在開いています上位の位牌壇に上がりたい方には数があるかぎり無料でお譲り致します。

ですから、『三席』から【特席】にも上がれます。

詳細は事務所まで！

### 身に着ける「お守り」

当山では、次の三つのお守りを、全檀信徒の皆様にならず身に着けて戴きますようお願いしています。

#### 霊神符



生命に係わる事故や災難から身を護るお守りで、必ず身に着けて、毎月交換して戴きます。

#### 五段のお守り



我々の計り知れない死霊・生霊・野狐・厄神・呪詛の五段の邪気から身を護るお守りで、年に一回交換します。

#### カード型ご本尊



日蓮宗の大曼荼羅御本尊を小型化したお守りで、右の二つのお守りを、更に強くお護りして戴く為に一緒に身に着け、年に一回交換します。

### 『霊神符』を持ちましょう！

最近は思いもよらない事故・事件・災害が多発して特に、お子さんやお年寄りが多く巻き込まれている状態です。

檀信徒の皆様も「私だけは大丈夫」というお考えはお止めになりまして、素直に毎月『霊神符』(お守り)を肌身離さずお持ちになりますようお願いいたします。

【一体・百五十円】

### 『聖徒団会員』募集！

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職上人が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞『聖徒タイムズ』・寺報等の援助などに活用します。

会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

### 『提灯』募集！

当山で『お正月』『鬼子母神大祭』『御会式』に下げます『提灯』(トローラー)を募集致します。

作成価格は八千円、年間の管理費が二千円ですので、初年度は一万円となります。

### 二月の行事

一 日(月) 盛運祈願会 午後一時より

- ・ 毎月のお守り【霊神符】の交換の日です。
- ・ お守りは、お勤めに参拝してから戴きましょう。
- ・ 聖典(お教本)と数珠は必ずご持参下さい。



寒修行 一日(月)まで連日(小本堂)

午後七時より一時間

二 日(火) 節分会 午後六時より

⑨ 今年は二日ですのでご注意ください参拝して下さい。

十三日(土) 日蓮大聖人のご命日 午後一時より

- ・ お経 如来神力品第二十一 (訓読・日本語読み)
- 如来寿量品第十六 (真読・漢字読み)
- ・ 大聖人へのご報恩を忘れずに、参拝して下さい。

二十六日(金) 妙見小祭 朝のお勤め中

### ☆奉仕のお知らせ

二 日(火) 「節分会」のお手伝いと後片付け

教宣部男女・午後三時より

\* 今月は、「節分会」の大事業がありますので、お手伝いの方が沢山必要です。

どうか皆様のご協力をよろしくお願い致します。

⑨ 一般檀信徒の方でご奉仕出来ます方は、当日時間までにご集合下さい。

◎ 奉仕部長・山田兼補 ◎ 伝道部長・小野正春

◎ 教宣部長・杉淵昌三

### 檀信徒研修会は

三月までお休みです

### 『十三日のお勤め』

に参拝しましょう!

⑨ 十三日の『日蓮大聖人様のご命日』のお勤め用に、お経練習の【CD・お経本】を販売しています。

(詳細は事務所まで)